

夏の朝市

夏の朝市は極暑のため朝方の来訪がピークとされていますが、10時を過ぎても賑が途切れることはありません。



一生懸命目当ての品物を探す人、御尊前で合掌する人、木蔭で涼む人、本堂に上がって一服するひと、それぞれにいろいろな過ごし方があるようです。数百年変わらない境内の中で人は何かを肌で感じているようです。

冬の朝市



年末の朝市は正月の食材や備品を買いに早朝から賑わいます。この日は年内最後の朝市ということもあって、遠方からも大勢の人が参加します。

茶所の前ではカラオケも披露され、朝市を盛り上げます。



大広間前では主に骨董市がたてられ、骨董愛好家が宝物を探すような眼で覗き込んでいます。

境内白州では食材や飲食店が軒を並べ、人気の高い商品はあっという間に売り切れるそうです。

